

○米価下落により米の収益性が大幅に低下している。また、ブランド米の産地間競争が一層激化してきている。

○岩手県のオリジナル水稻新品種「銀河のしずく」、「金色の風」が育成され、速やかな普及拡大により県産米の評価向上、農家の所得向上が求められている。

○このため、関係機関・団体等と連携し、新品種モデル圃の設置や研修会の開催を通じて、良食味・高品質米栽培技術の確立や、新品種PRに取り組む。

## 目標とする成果

### 1. 県オリジナル水稻新品種の早期普及拡大

■ 県農業研究センターが開発した水稻新品種及び有望系統の早期普及拡大を目指す。

- ・銀河のしずく(中生)：H28～ 一般栽培開始  
目標年度(H30)作付面積 2,000ha
- ・金色の風(晩生)：H29～ 一般栽培開始  
目標年度(H30)作付面積 600ha

### 2. 良食味・高品質米栽培技術の確立・定着

■ 安定栽培適地を明らかにし、良食味・高品質米栽培技術を確立する。

- ・品質の向上(一等米比率)  
現状：あきたこまち 94.5 %  
→H30：新品種 95 %
- ・食味評価の向上  
「特A」評価の取得  
※H27・28参考  
：「特A」評価



### 3. 新品種のPR等による知名度の向上

■ 生産者や消費者へ新品種の良さをPRし、生産意欲・購買意欲を醸成する。  
・新品種が新たなブランド米として定着

## 目標を達成するための普及活動

### (1) 安定栽培適地の把握と作付誘導(H27～30)

- 銀河のしずく  
・モデル展示圃設置(H27～29)  
・生育調査に基づく「栽培マニュアル」作成(H27)、改訂(H28)  
・栽培マニュアルに基づく指導及び検証(H28～30)
- 金色の風  
・モデル展示圃設置(H27～29)  
・生育調査に基づく「栽培マニュアル」作成(H28)



### (2) 研究会活動を通じた安定栽培技術の向上(H27～H29)

- 銀河のしずく  
・栽培研究会設置(H27～29)  
地域栽培研究会設置(H28～29)
- 金色の風  
・栽培研究会(県・地域)設置(H29)



### (3) 新品種PRによる知名度向上(H28～30)

- 生産者・消費者向けPR支援(H28～30)  
・本庁県産米戦略室と連携したPR活動等

## 関係機関との連携

■ 中央農業改良普及センター県域普及グループ(農業革新支援センター)は、関係機関のコーディネート、新技術の検証、研修会開催。

■ 県農業研究センターは、実証圃の調査結果に基づく栽培マニュアル作成などから参画。

■ 地域普及センターは、実証圃設置にあたって生産者(生産部会)等との調整、実証圃の管理指導等を担うほか、新技術の導入・普及を推進。

■ 全農県本部(JA)は、新品種PRイベントや卸への周知活動を行い、消費者等への認知を促進。

## 今回の普及活動の特徴

■ 中央農業改良普及センター県域普及グループ(農業革新支援センター)が栽培農家、試験研究機関、関係機関・団体との連携をコーディネートして、栽培技術の早期確立・定着を図る。

■ 中央農業改良普及センター県域普及グループ(農業革新支援センター)が消費者へのPR活動等を支援し、生産から販売促進まで一体的な普及活動により、新品種の早期普及拡大を図る。